

園芸店では“アツツザクラ”と呼ばれることもある。

< 植物名 >

ロードヒボクシス

赤

水やり

生育中や開花中は、乾燥させないように毎日水やりをする。11月頃に葉が黄色く枯れはじめたら、水やりをストップする。

置き場所

日当たりが良いところに置く。夏は直射日光を避けた涼しいところへ。

用土肥料

特記事項なし。

植え替え

休眠中に球根を掘り上げずに適湿を保ち、早春に植え替える。

ふやし方

分球

冬越し

冬は植えたまま、雨の当たらない所で、凍らない程度の低温で越冬させる。

使い方 庭植え、鉢植え

学名 Rhodohypoxis baurii

英名

属名 ロドヒボクシス

科名 キンパイザサ

性状(分類) 球根植物

原産地 南アフリカ

花の色 赤

開花期 5～6月

購入時期

草丈 8～10cm

ID 136

季節 春 夏

JFコード 40278



冬越しと置き場所

日当たりがよいところに置く。夏は直射日光を避けた涼しいところに、冬は植えたまま、雨の当たらない所で、凍らない程度の低温で越冬させる。

その他の解説

生長が早く、花期が長いのがうれしい。2月頃に植え付ければ、4月頃から咲き始め、6月の末まで次々に咲きつづける。元肥として、植え込む時に肥料を用土に混ぜず、生育期間中に液肥を与えるとよい。

特徴1

雄しべや雌しべが短くて見えないのが特徴。成長が早く、花期が長い。生育・開花中は毎日水やりをし、葉が枯れ始めたら水やりをストップする。

特徴2

径1～1.5cmの球茎をつけ、1つの球茎から10～15の葉を出す。葉が1つできるごとに、1つの花序ができる性質があるが、実際に開花まで発達するのは3～7花序。1花序に1～3つの小さな花をつける。雄しべや雌しべがかなり短くて見えないのも、花のかわいらしさを引き立てている。